

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-5-6  
居住環境づくり

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

土木部 都市計画課長 西村 成人

電話番号

0852-22-5209

事務事業の名称	開発許可制度の運用	
目的	(1) 対象	都市の住民
	(2) 意図	周辺の土地利用と調和の図れた良好な市街地を形成する。
事業概要	周辺の土地利用と調和の図れた良好な市街地を形成するため、都市計画区域内での開発行為に対して、基準に適合する良好な開発行為を誘導する。また、市街化調整区域内での開発許可申請に対して、開発審査会を開催して専門的立場から申請内容を審査する。	

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 開発許可面積	目標値		20.0	20.0	20.0	20.0	ha
		取組目標値						
	式・定義 年間開発許可面積	実績値	17.4	21.6				%
		達成率	-	108.0	-	-	-	
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						%
		達成率	-	-	-	-	-	

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	80	154
うち一般財源 (千円)	0	0

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- ・新規開発許可が66件、21.51ha、変更許可が20件、0.06haあった。
- ・安来市について、県で定める開発許可基準に定めのないケースが増加傾向にある。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

重大な違反を行っている事案は無く、適切に法に基づく許可や指導ができています。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

### ①困っている「状況」

- ・県で許可を行う地域の内、安来市について、県で定める開発許可基準に定めのないケースが増加傾向にある。

### ②困っている状況が発生している「原因」

- ・安来市には市街化調整区域があり、他の地域に比べ、法的規制が多いため。

### ③原因を解消するための「課題」

- ・安来市に地域の事情を考慮し緩和対策を講じることが出来る「事務処理市」として権限移譲を行う。

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・安来市に対しては権限移譲を含めた対応の検討を促す。
- ・開発許可制度の適切な運用のため、担当者が理解しやすいマニュアルや手引きの見直し、担当者会議等を開催する。